



浦和駅周辺

本号のトピック

1

「（仮称）浦和駅周辺まちづくりビジョン」とは？

…「（仮称）浦和駅周辺まちづくりビジョン」についてご紹介します。

2

過年度の浦和駅周辺まちづくりビジョンの検討報告

…平成30年度及び令和元年度に調査・検討した浦和駅周辺地区の現況等についてご報告します。

3

「第1回庁内検討会」の開催報告

…令和3年2月2日に開催した「庁内検討会」の概要について報告します。

さいたま市では、現在、都心拠点に位置付けている浦和駅周辺地区について、今後のまちづくりの指針となる「(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン」の策定に取り組んでいます。

「浦和駅周辺のまちづくり News Letter」は、ビジョンの検討状況やまちづくりの情報等について、地域の皆さまと共有することを目的に発行するものです。

1 「(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン」とは?

浦和駅周辺地区は、さいたま市の「都心拠点」の役割を担っています。

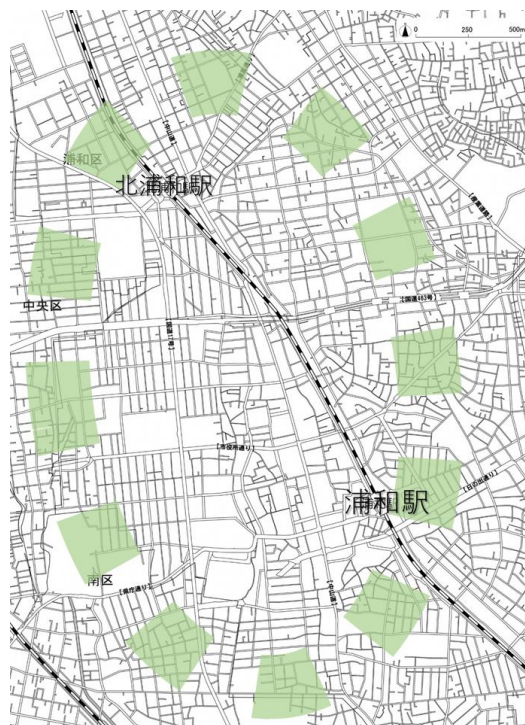
本市の都心拠点は「大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区」と「浦和駅周辺地区」の2つあり、都心拠点では、幹線道路網や公共交通機関の利便性を生かし、商業・業務機能などの多様で高次な都市機能の充実・強化を図り、都市活動や市民生活の拠点となることを目指しています。

なお、現在は「浦和駅西口南高砂地区」の再開発事業が進められています。

■ (仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョンとは

浦和駅周辺地区では、良好な住環境とともに良質な都市基盤が整備されており、今後も魅力ある都心拠点であり続けるために、社会・経済情勢の変化に対応しつつ、浦和らしい風格ある都市づくりを進めていきます。

その上で、まちづくりに参加する市民、事業者、行政等といった様々な立場の人々が、協働・連携によりまちづくりを推進するため、まちの将来像やまちづくりの方針を共有することを目的にまちづくりのビジョンの策定に向けて取り組んでいます。



検討対象範囲

平成30年度及び令和元年度の調査では、浦和駅周辺地区の特徴（強み）、課題や魅力などについて、整理を行いました。なお、この調査は、浦和駅周辺地区を含む町丁目を対象としています。

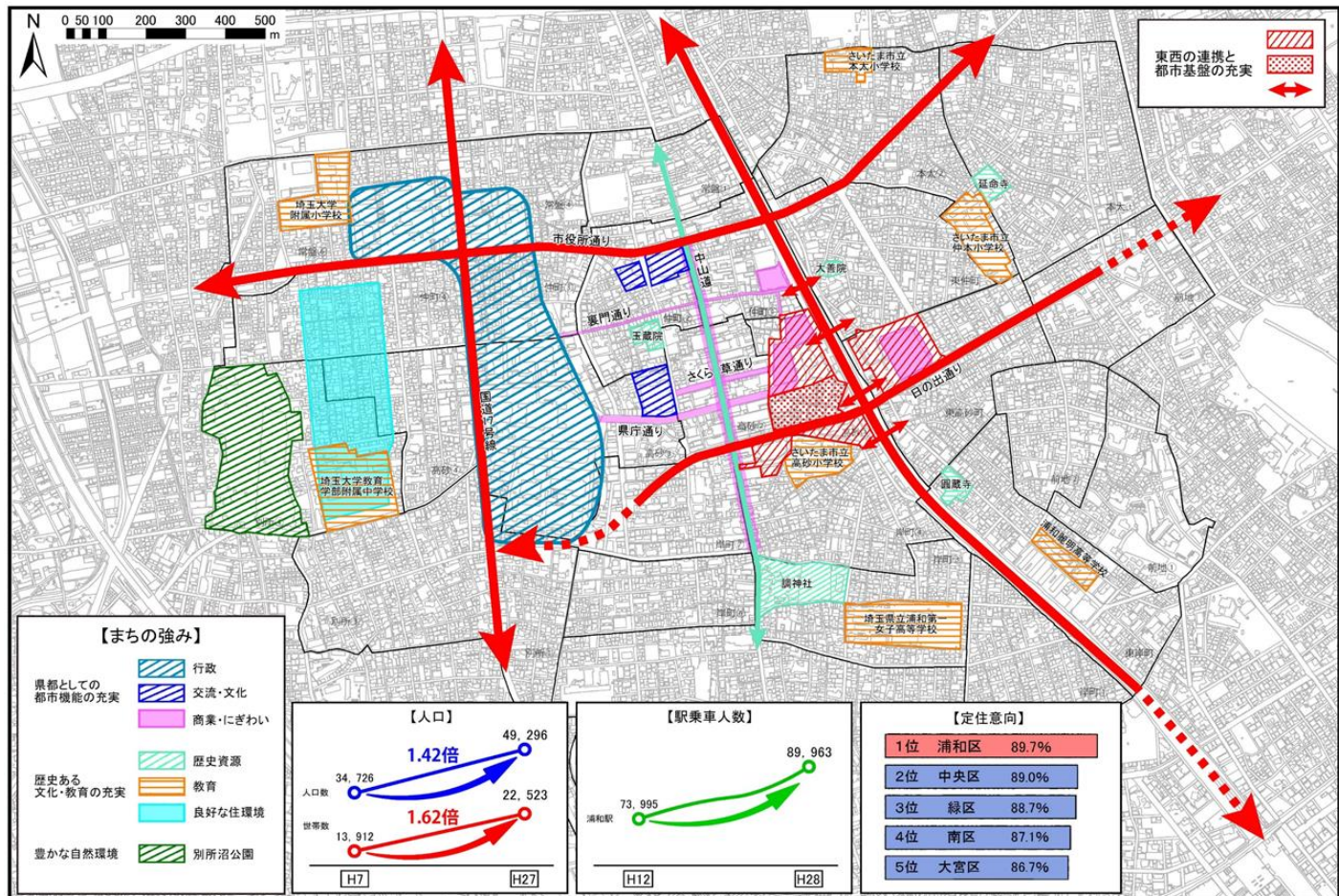
■ 浦和駅周辺地区の特徴（強み）

浦和駅周辺の土地利用の現状を把握するため、都市計画基礎調査などのデータを基にして、まちの強みを整理しました。

県都としての都市機能の充実、歴史ある文化資源や教育機能の充実、豊かな自然環境などが、まちの強みになり、地区の人口増加や駅の乗車人数が増加しています。

浦和駅周辺のまちの強みマップ

浦和駅周辺のまちの特徴（強み）をマップに表示し、見える化を行いました。



■ 都市計画の手法による課題解決の方向性（案）

都市計画の手法により課題解決する方向性について検討し、整理を行いました。

- ① 駅の高架化と都市計画道路の整備を契機とした、駅東西連携のさらなる強化
- ② 市街地再開発事業の着実な推進を図り、西口駅前広場の拡張による賑わいや回遊性の向上と駅南側へのアクセス強化
- ③ 地域の環境に応じた適切な土地利用と高度利用化の推進
- ④ 誰もが安全・快適に過ごすことができる歩行環境の整備・充実、みどりのネットワークの形成やオープンスペースの確保
- ⑤ 厳しくなりつつある商業・業務環境や文化・交流施設の移転などを考慮した「都心」としての都市機能の再生の必要性（大宮駅・さいたま新都心周辺地区との役割分担）
- ⑥ 浦和地区の地域資源を活かしたまちづくりと都市型住宅地としての環境整備

コラム：浦和駅周辺の鉄道高架化と駅東西市街地の一体化

浦和駅周辺では、駅前後の約1.3kmの区間において、鉄道高架化事業が行われました。

鉄道を高架化し、道路を平面で整備するとともに、駅構内に幅員25mの東西連絡通路が整備され、駅東西市街地の一体化が図られました。



この鉄道高架化事業に併せ、浦和駅通過となっていた、池袋・新宿方面行きの中距離電車（湘南新宿ライン）を停車させるため、東北客貨線に旅客ホームが新設されました。

平成25年 3月完成

■ 浦和駅周辺地区の魅力

浦和駅周辺地区の人口は、20年前に比べて1.4倍に増加しており、市全体を上回る増加率で推移しています。

特に、子ども・ファミリー層の増加率が高く、「住みたい街ランキング」で2018年より4年連続で10位以内にランクインするなど、『住みたい街』としての認知度が急上昇しています。

① 「利便性の高さ」と「落ち着いたバランスがとれたまち」

- 東京方面や羽田空港など広域的な移動の利便性が高く、バスやシェアサイクルの充実など地域内の移動も確保されています。
- 駅前に商店・商店街が充実しており、買い物の満足度も高くなっています。
- 駅西側は別所沼公園や調公園など安らぎを感じる空間が点在しています。
- 居住者から「災害に強い」まちとして高く評価されています。



出典：さいたま市観光国際協会HP

② 「教育意識の高い子育て世代に人気」

- 居住地として選ばれる大きな理由の1つは文教都市が故の『教育環境のよさ』です。
- 仲町、高砂、前地を中心に、教育への関心が高い30～40代の共働き夫婦の転入先として選ばれています。
- 市街地再開発事業などが進んでおり、今後も浦和駅周辺ではファミリー層が増加を続ける可能性があります。

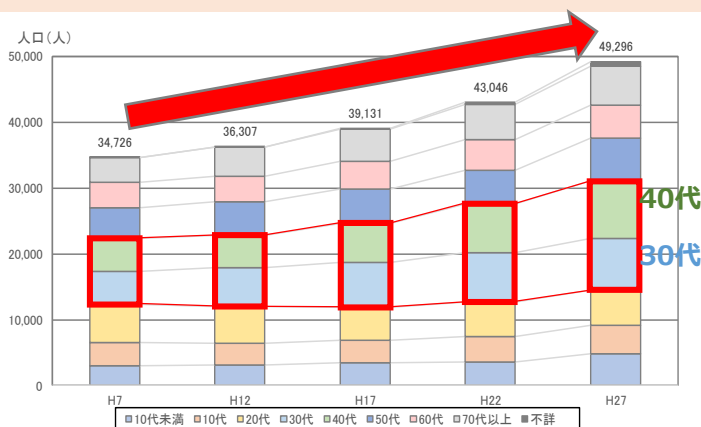


図 浦和駅周辺の年代別人口の推移

③“こだわり”のある人・場所・空間が点在

- 中山道、裏門通り、市役所通りを中心に、江戸・明治時代から続く老舗、古民家をリノベーションしたカフェ、アートに興味のある人やスポーツファンが集う場所など個性的な空間が点在しています。
- 大きな集客力を誇る祭り、市役所前広場や道路空間を活用したイベントが定期的に行われています。



中山道



裏門通り

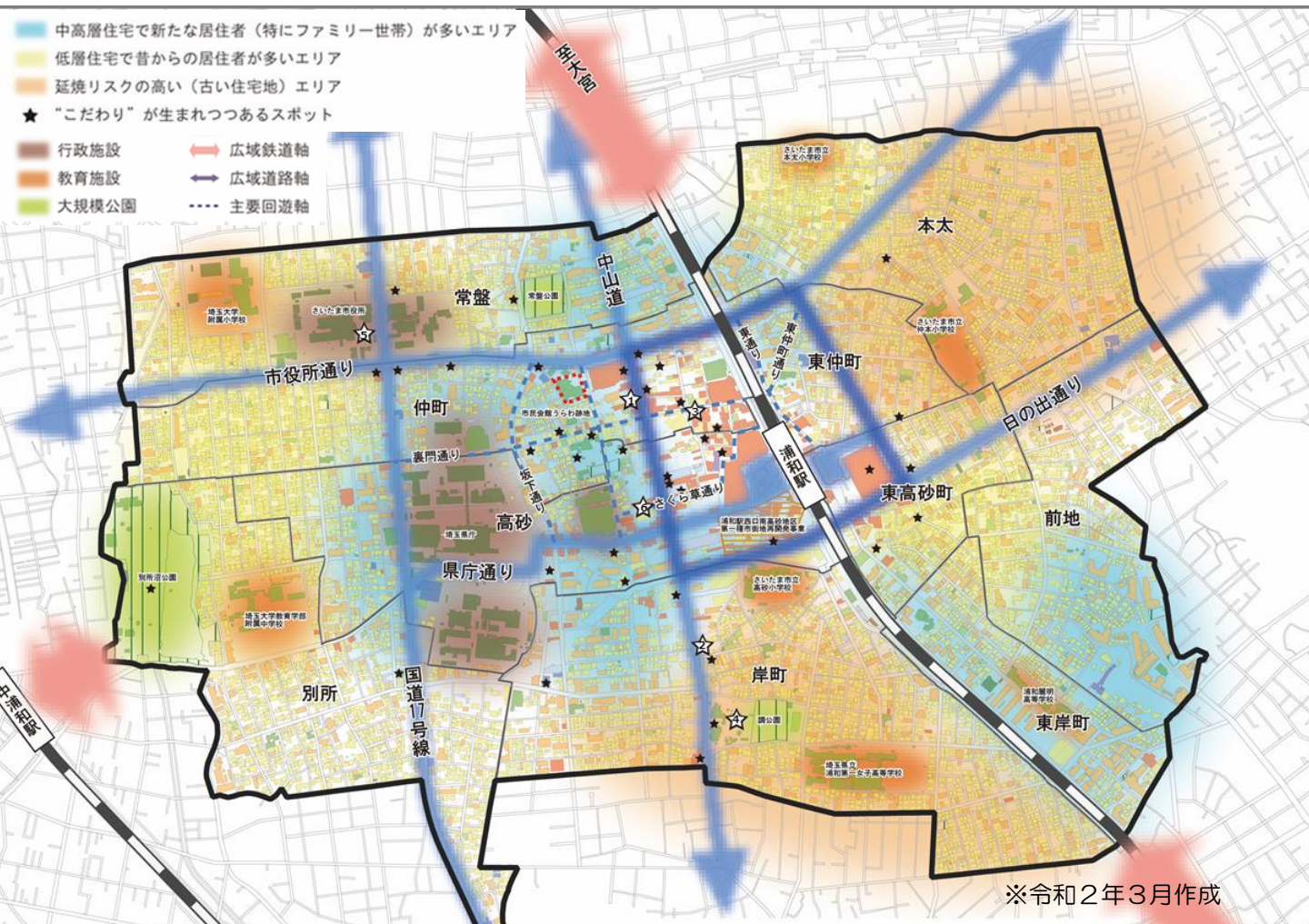


広場や道路空間を活用したイベント

※現在はコロナ禍の影響によりイベント等の自粛がされている場合があります。

浦和駅周辺のまちの魅力マップ

浦和駅周辺のまちの魅力や価値をマップに表示し、見える化を行いました。



※令和2年3月作成

「庁内検討会」とは、庁内の関係課で構成されるまちづくりビジョンの検討組織です。第1回では、地区の現状やまちづくりの方向性等について、検討・整理を行いました。

■ 浦和駅周辺地区の「現状」

「文教都市」

歴史を感じる神社仏閣、史跡をはじめ、文化・教育に関わる資源に恵まれ、全国に誇れる「文教都市」が形成されています。

都市機能が充実した「埼玉県の行政の中心地」

商業・業務機能、県庁、市役所や県警などの行政機能、美術館、図書館、小・中・高等学校といった文化・教育機能が集積しています。

また、近隣公園などが整備され、緑・憩いのある都市空間が形成されています。

魅力ある良好な住宅地（高い交通アクセス性と生活利便性）

公共交通機関等の整備が進んでおり、都内への交通アクセスや生活利便性が良いことに加え、魅力ある良好な住環境が形成されています。

建築物等の老朽化への対策

市街地再開発事業など市街地の再構築や都市計画道路等の整備が進められている一方で、駅周辺には老朽化建築物もあり、それらの機能の更新等を図る必要があります。



■浦和駅周辺地区の「まちづくりの方向性」の整理

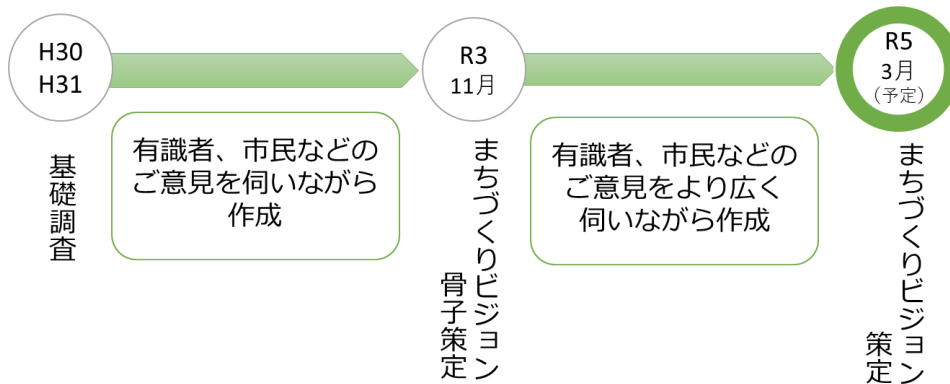
浦和ブランドの魅力による新たな拠点の形成

- 「文教都市」を共創していくため、洗練された伝統を未来に引き継ぎ、浦和ブランドの魅力を上昇させる新たな拠点の形成を進めます。
- さいたま市の行政機能としての役割を担うとともに、商業・業務機能や文化・教育機能を中心とした機能の集積強化・再形成を図り、大宮駅周辺・さいたま新都心周辺と連携したまちづくりの推進を図ります。
- それぞれの地域の特性に応じた都市景観の形成を進めていきます。
- MaaS、ICTなど、新技術の積極的な活用を図り、ハード・ソフトの両面からまちづくりを推進していきます。

第1回庁内検討会で出された意見の概要

- 現状に記載する文化施設等の確認が必要である。（中央図書館・恭慶館など）
- 検討対象範囲を北浦和駅まで広げているが、総合振興計画や都市計画マスタープランにおける都心の範囲から外れており、整理が必要である。
- 大規模地震時における災害リスクの高い地区があり、建築物の不燃化促進などによる安全な市街地形成が必要である。
- 「浦和ブランド」をはじめとした地域資源のより一層の活用が必要である。
- 駅周辺における緑の創出について、緑の配置や機能等も踏まえた取組みが必要である。

今後の検討スケジュール & お知らせ



魅力ある都心拠点の形成に向けた「（仮称）浦和駅周辺まちづくりビジョン」の策定に向けて、今後も調査・検討を進めていきます。

地域の皆さまには、同ビジョンの策定に向けて、ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。